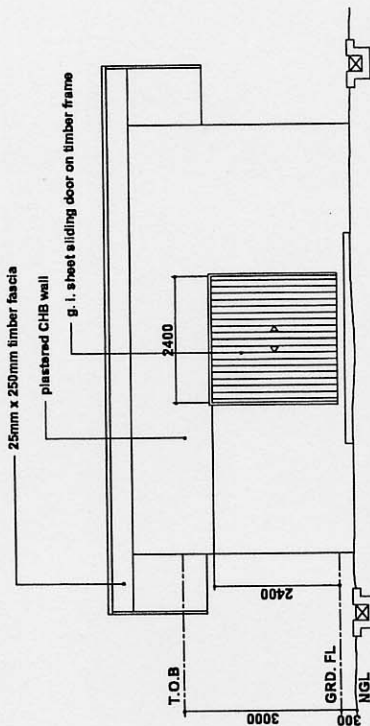
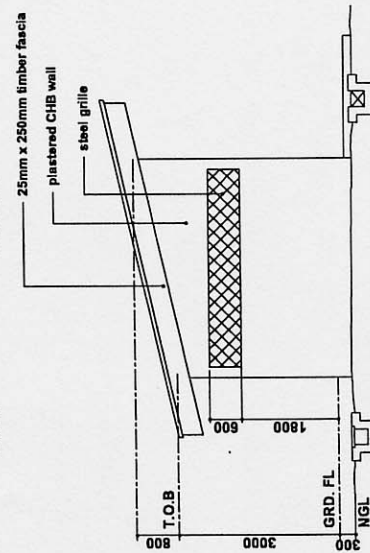


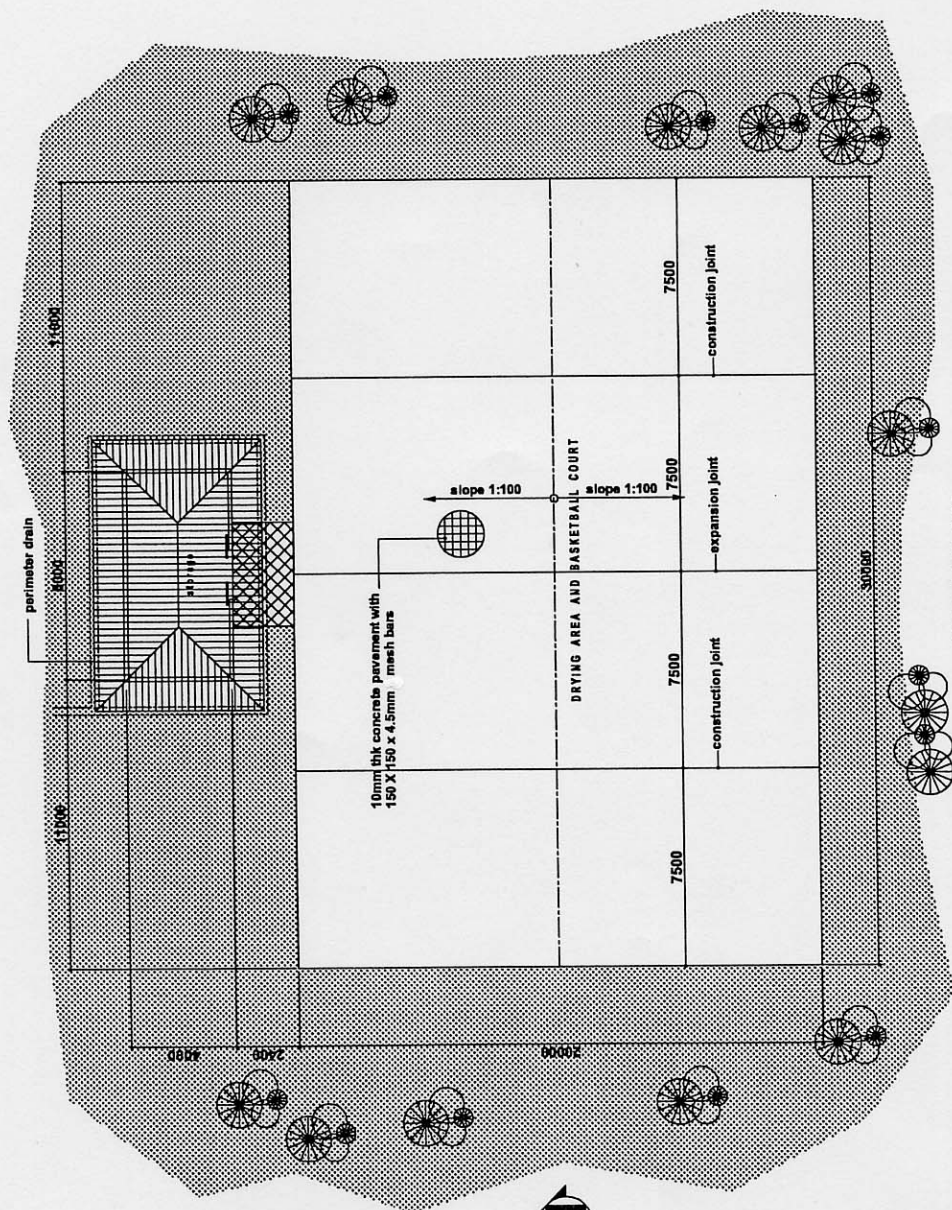
TYPICAL PAVEMENT DETAIL
SCALE 1:20 MTS



FRONT ELEVATION
SCALE 1:100 MTS



SIDE ELEVATION
SCALE 1:100 MTS



SITE PLAN
SCALE 1:200 MTS

図 3-4 多目的乾燥場計画一般図 (シラエ・ダラクタン地区)

CLIENT	CONSULTANT	PROJECT	SCALE	CONTENTS	SHEET NO.
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)	SANYU CONSULTANT INC. (SCI) KATAHIRA & ENGINEERS INTERNATIONAL (KEI)	BASIC DESIGN STUDY ON THE DEVELOPMENT OF AGRARIAN REFORM COMMUNITIES IN MARGINAL AREAS IN THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES	0 1 2 3 4 1 : 200	GRAINS DRYING AREA AND STORAGE SILAE, MALAYBALAY CITY, BUKIDNON SITE PLAN AND ELEVATIONS	1 2

(3) 農村給水施設

(a) レベル-1 給水施設

1) 深井戸建設数及び成功基準

深井戸建設数はシラエ村 1 カ所、ダラクタン村 1 カ所合計 2 カ所とする。井戸の成功基準は揚水量毎分 12.0 リットル以上及び水質は下記の保健省の基準に準拠する。

項 目	基準値
色度	5 度以下
濁度	5 度以下
塩化物	250mg/L 以下
総硬度	300mg/L 以下
鉄	1.0mg/L 以下
マンガン	0.5mg/L 以下
pH	6.5～8.5 以下
硫酸イオン	250mg/L 以下
全蒸発残留物	500mg/L 以下
フッ素	1.0mg/L 以下
亜硝酸性窒素	3.0mg/L 以下
残留塩素	0.5mg/L 以下
糞便性大腸菌	0 No./100mL

2) 深井戸施設の構造

深井戸施設は、清浄かつ長期的に安定した飲料水が得られる構造とする。即ち、井戸は全層 PVC のケーシング及びスクリーンパイプで保護し、その周囲を砂利で充填する。充填砂利の厚さは片側 25mm（1 インチ）以上とする。井戸の仕上がり口径は 100mm（4 インチ）、掘削口径は最小 200mm（8 インチ）とする。井戸上部から汚染された地表水が井戸内に進入しないように、地表下 10m 区間をグラウト・シールする。井戸掘削深度は 40m とする。井戸の標準構造図を図 3-5 に示す。

3) 深井戸付帯施設

井戸の清掃及び維持管理を容易にすると共に余水の地下浸透を容易にするため、井戸周辺に採石を敷き詰める。付帯施設の標準計画図を図 3-6 に示す。

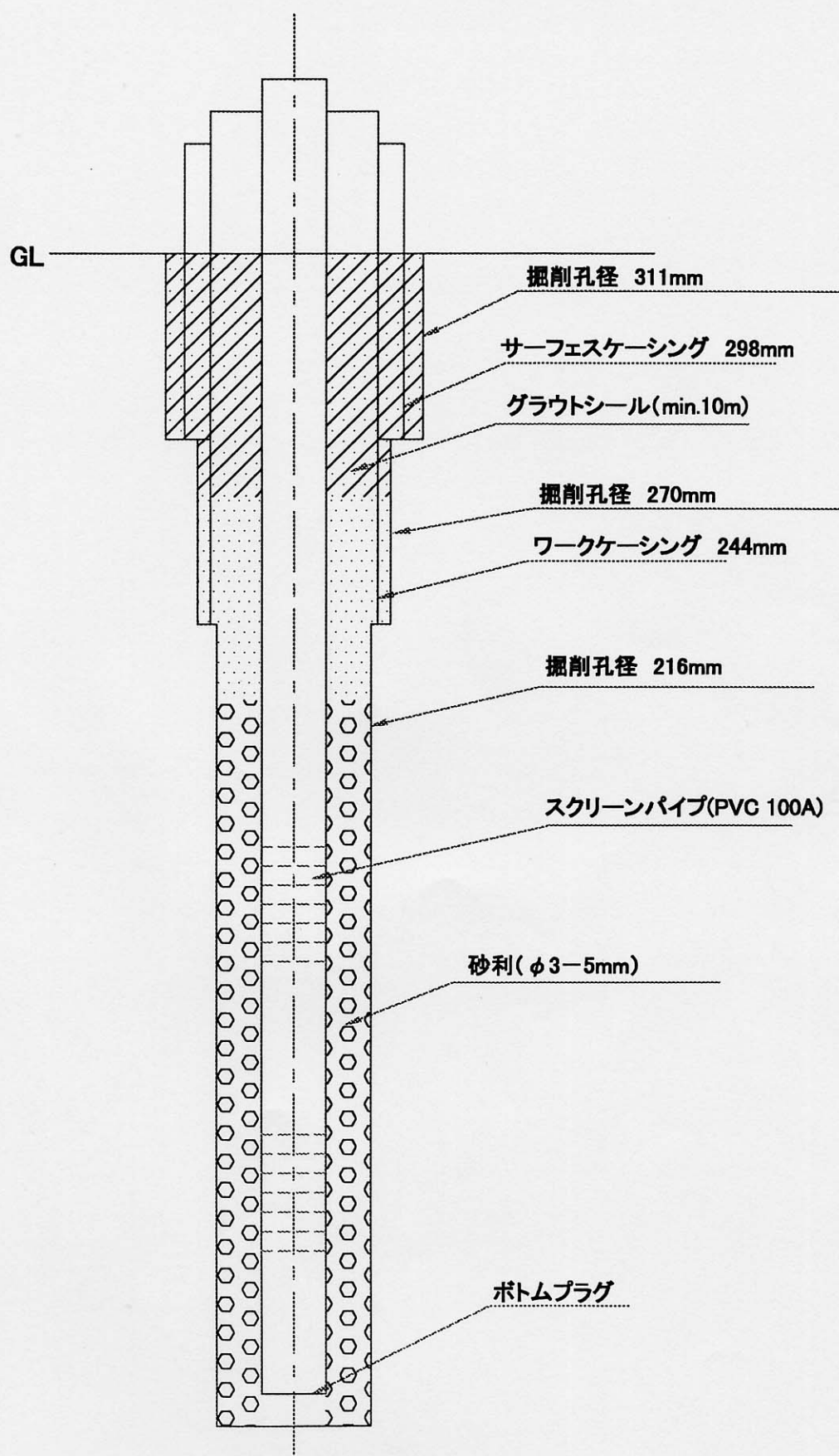


図 3-5 井戸標準構造図

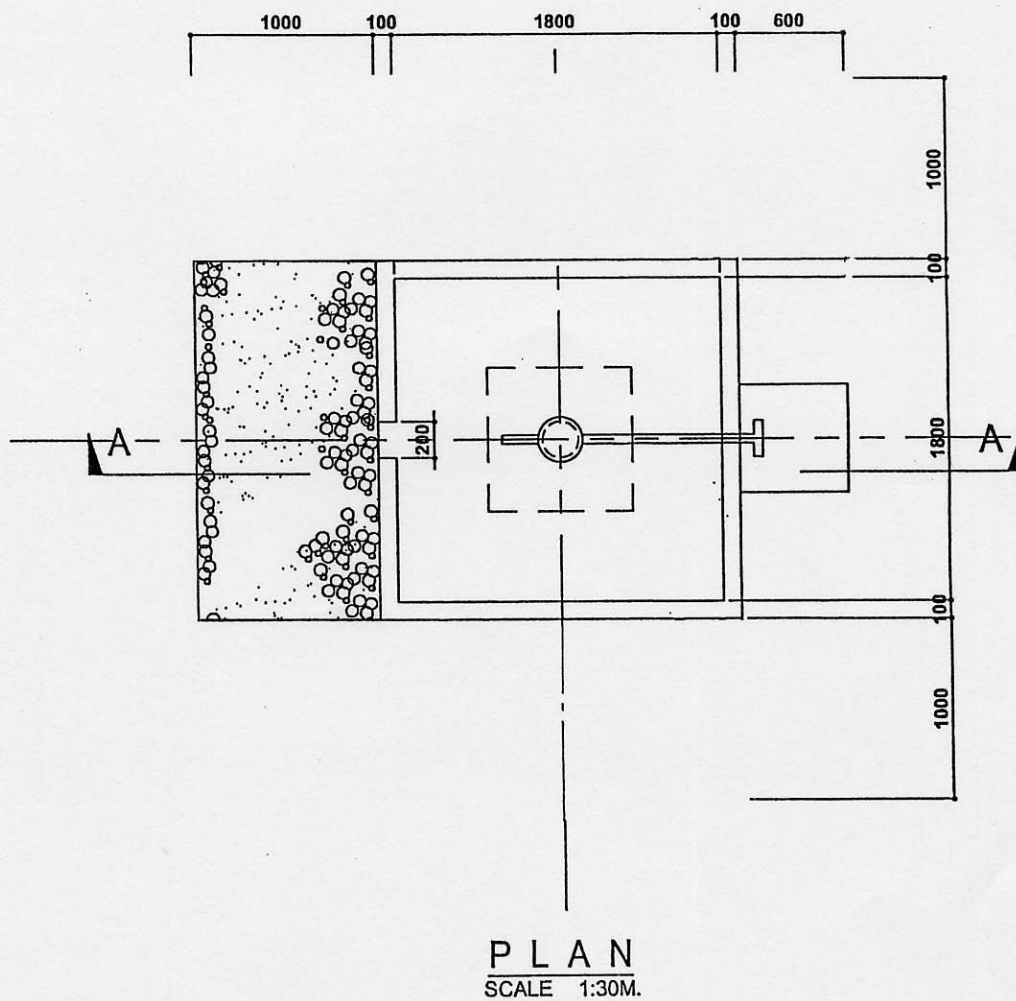
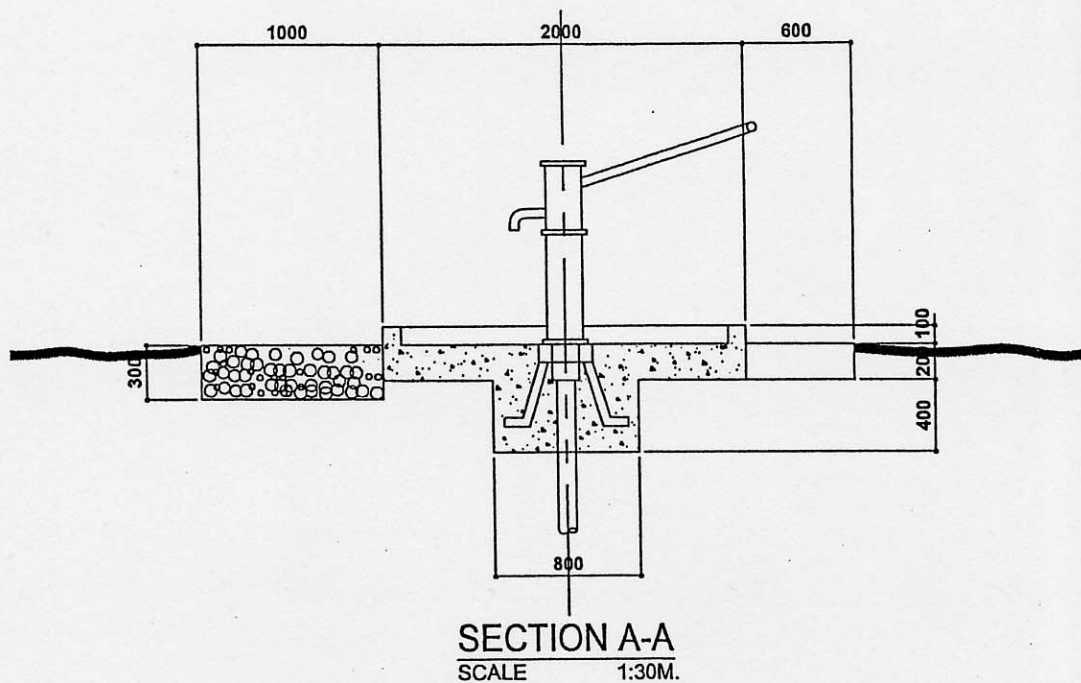


図 3-6 付帯施設標準計画図

CLIENT	CONSULTANT	PROJECT	SCALE	CONTENTS	SHEET NO.
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)	SANTYU CONSULTANT INC. (SCI) KATAHIRA & ENGINEERS INTERNATIONAL (KEI)	BASIC DESIGN STUDY ON THE DEVELOPMENT OF AGRARIAN REFORM COMMUNITIES IN MARGINAL AREAS IN THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES	0 1 2 3 4 1 : 30	TYPICAL DEEP WELL PAD PLAN AND SECTION	DWP 1

(b) レベルー2 給水施設

1) 給水計画

安全な水を、維持管理費の負担をできるだけかけないで農民が確保するため、水源は全て湧水を利用し、自然流下によって配水する方式とする。この給水計画は下記の公共事業省基準に従う。

- 計画目標年次：10 年
- 人口増加率：年 3%
- 給水計画人口：現在の人口×1.34
- 計画給水量：40 リットル/人/日
- 日平均給水量：計画人口×日計画給水量
- 日最大給水量：日平均給水量×1.3

上記の基準より、本計画対象地区の給水計画は下表に示すとおりである。

計画対象地区給水計画一覧表

地区名	集落名	給水計画 人口（人）	計画給水量 (L/人/日)	日平均給水量 (L/日)	日最大給水量 (L/日)
マランゴク	プロパー 1	288	40	11,520	14,976
	プロパー 2	318	40	12,720	16,536
	ギントリアン	224	40	8,960	11,648
	計	830		33,200	43,160
	エハ 1	161	40	6,440	8,372
	エハ 2	172	40	6,880	8,944
	カイミ	209	40	8,360	10,868
	計	542		21,680	28,184
	ハンハン	260	40	10,400	13,520
シラエ	プロパー	1,557	40	62,280	80,964
ダラクタン	プロパー	377	40	15,080	19,604

2) 給水施設計画

- a) 水源 : 湧水を利用
- b) 取水ボックス : 湧水を取水するため、マランゴク地区の新規水源 3 ヶ所及びシラエ地区の新規水源 1 ヶ所に鉄筋コンクリート製の取水ボックスを建設する。また、シラエ地区の既存水源の取水ボックスは老朽化が著しいため、新規に建設する。取水ボックスの標準構造図を図 3-7 に示す。
- c) 配水槽 : 配水槽は地上型配水槽とする。配水槽容量は DPWH の基準に従い、

日最大給水量の4分の1とする。シラエの既存配水槽（23m³）の容量は基準を満たしているが、建設位置の標高が低く、村の南東部の地区には十分な給水ができない状況である。このため標高の高い位置に新規水源用の配水槽を建設し、全村民に給水する計画とする。各地区に必要な配水槽容量は下記のとおりである。

配水槽建設計画一覧表

地区名	集落名	日最大給水量 (L/日)	配水槽 容量 (m ³)	備 考
マランゴク	ブローパー 1 ブローパー 2 ギントリアン	43.16	10.8	既存配水槽（12 m ³ ） 有り
マランゴク	エハ 1 エハ 2 カイミ	28.18	7.0	新規建設
マランゴク	ハソハソ	13.52	3.4	新規建設
シラエ	ブローパー	30.24*	7.6	新規建設
ダラクタン	ブローパー	19.60	4.9	既存配水槽（2.0 m ³ ） 容量不足のため新規建設

*新規水源の日最大給水可能量

- d) 送水管 : 取水ボックスから配水槽へ送水するための管路で、自然流下方式とする。
- e) 配水管 : 配水槽から共同水栓まで配水するための管路で、自然流下方式とする。管の材質はポリエチレン管とする。
- f) 共同水栓 : 共同水栓は家屋の密集地では 50m 毎に 1 カ所、家屋が分散している地区では 5～7 世帯に 1 カ所設置する。既存の共同水栓はほとんどの蛇口が壊れており、全て改修することとする。

管路及び共同水栓概要

	単位	マランゴク	シラエ	ダラクタン
送水管（φ 25～40mm）	m	1,380	2,110	—
配水管（φ 15～50mm）	m	3,580	755	585
共同水栓	カ所	12	14	8